

第13次5ヵ年計画策定開始（2）

田中 修

はじめに

9月2日、李克強総理は国務院構成部門・関係単位責任者会議を開催し、第13次5ヵ年計画編制始動について検討・手配を行った。会議には、張高麗・劉延東・汪洋・馬凱各副総理と楊晶国務院秘書長も出席した。本稿では、李克強総理の重要講話の概要を紹介する（新華網北京電2014年9月4日）。

第12次5ヵ年計画実施以降、錯綜し複雑な内外情勢に対し、党中央・国務院の堅固な指導の下、各地方・各部門は、安定の中で前進を求めること、改革・イノベーション、堅塁攻略・難関克服を堅持し、経済成長の安定、経済構造の調整、民生の保障・改善、リスクの防止・解消等の方面で容易ならざる成績を挙げた。

第12次5ヵ年計画の前・中期の実施状況を真剣に総括・全面的に評価し、後期施策をしっかりと推進し、計画の主要目標・任務の達成を確保し、将来の発展のために良好な基礎を打ち固めなければならない。

第13次5ヵ年計画期間は、小康社会を全面的に実現するラストスパートの5年であり、改革全面深化で決定的な成果を得なければならない5年でもある¹。

第13次5ヵ年計画をしっかりと編制するに際しては、18回党大会と18期2中全会・3中全会精神を貫徹し、国際環境の深刻な変化、わが国発展の新たな段階的特徴と直面するリスク・試練を十分認識しなければならない。発展という第一の重要任務を堅持し、改革・イノベーションを際立たせ、科学的発展の推進・発展方式の転換・深層レベルの矛盾の打破について奮発して成果を挙げ、大きな進展をみなければならない。中国経済が中高速発展を維持し、ミドル・ハイエンド水準に邁進し、質・効率の向上とグレードアップを実現することを推進しなければならない。

第13次5ヵ年計画を検討・編制するに際しては、短期と長期を結びつけ、長期的な問題を解決する方法をもって当面の試練に対応しなければならない。5年を主とし、2020年の小康社会の全面実現のための各目標とリンクさせるだけでなく、更に長期の発展見通しを考慮しなければならない。

- ①構造改革によって、構造面の難題を打破し、
- ②行政の簡素化・権限の開放によって、市場の活力を奮い立たせ、発展の潜在力を発揮さ

¹ ゴチックは筆者。

せ、

- ③科学技術イノベーション・大衆の起業によって、経済発展の新たな機能を増やし、
- ④開放レベルの引上げによって、発展の余地を開拓することにより、
経済を更に効率的に、社会を更に公平に、発展を更に持続可能にしなければならない。

第13次5ヵ年計画期間の発展を科学的に計画するには、国情に立脚し、要を把握し、国家計画と民生をしっかりと結びつけ、発展の需要に着眼し、人民の期待に順応しなければならない。

- ①経済の発展と構造調整の全局に対して、牽引性の強い重大プロジェクト、
- ②社会建設・生態保護・民生改善の推進に対して、作用が顕著な重大プロジェクト、
- ③際立った矛盾の解決、公平・効率の増進に対して、有力・有効な重大政策
を真剣に検討し、足りない部分を補い、ラストスパートを強め、バランスを促し、水準を向上させるために支えを提供しなければならない。

第13次5ヵ年計画の編制は、時間が迫っており、要求は高く、及ぶ範囲が広いので、入念に組織しなければならない。

- ①全般的に考慮し、統一的に企画・協調し、実際から出発して、現地の事情に合わせて適切な方法を採用し、中央・地方の2つの積極性を重視しなければならない。
- ②大衆のパイオニア精神を尊重し、人民に根本的な対策の指導を請い、衆知を集め、人民の知恵を最大程度凝集しなければならない。
- ③計画は壁に掛けておいてはならず、しっかり着地させなければならない。
- ④計画の主要な目標・任務を科学的に論証することにより計画に厳粛性をもたせ、重大プロジェクトを必ず計画に組み入れ、将来段階的に実施できるようにしなければならない。
- ⑤重大問題の調査・研究を強化し、事実即して問題を処理し、力を尽くして成果を挙げ、力量を考えて実施することにより、計画に時間の検証を経させ、「2つの百年」²という奮闘目標と中華民族の偉大な復興という中国の夢の実現のために全人民を奮い立たせ、努力奮闘させなければならない。

(9月5日記)

² 共産党創立百年で小康社会を全面的に実現し、建国百年で中国を富強・民主・文明的で調和のとれた社会主義現代国家とする。